

豊能町くはたちのつどい

20歳の晴れの門出を祝し、1月13日、ユーベルホールにおいて令和7年「はたちのつどい」を開催しました。

当日は、スーツや色鮮やかな振袖に身を包んだ新しくはたちになられた110人の出席があり、未来への第一歩を踏み出しました。

会場では久しぶりに会う旧友とともに写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりする姿があらゆるところで見られました。



「二十歳のいよば」

藤田 実優さん



本日は、二十歳を迎えた私たちの門出に際してこのような盛大な式典を開催していただきありがとうございます。私は、今日人生の節目でもあるはたちのつどいに出席できたことを大変嬉しく思います。無事にこの日を迎えることができたのは、今まで私を支えてくれた家族、先生、友達、地域の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。私が生まれてからもう20年が経ったのかと思うと、本当にあつという間で驚くばかりです。今でも吉川中学校の近くを通ると、大好きな先生方がいなか探したり、グラウンドを見ると、たくさん練習したラジオ体操、体育大会の応援合戦やリレーなど、楽しかった日々が思い出されます。

私たちは、高校受験の頃にコロナが始まり、高校はオンライン授業で始まりました。マスク着用の義務や、体育祭の中止、修学旅行の延期など、さまざまな制約があった中でも最大限楽しもうとした高校生活でした。そして今、私は大学2年生になり、コロナも収束し、制限もほぼ無くなりつつあります。そんな今、私は大学の講義を対面で受けられること、部活動を続けられること、はたちのつどいで幼なじみと会えること、そんな何気ない日々が、今までの普通が、特別で素晴らしい

いことだと強く感じられます。だからこそ、今しかできないことをしようと思うし、今を後悔しないようにこれからの生活を送っていきたくと思っています。

私は、大学で遺伝学や病理学などの生物全般について学んでいます。部活はダンス部に所属しており、毎年自主公演を行っています。また、豊能町の自然が大好きだったこともあり、何か自分ができることはないかと考え、環境ISO学生委員会に所属し、海岸清掃の企画・実施や小学校での環境学習を行っています。どちらの活動もOB、OGの方や地域の方々に関わるため、人との繋がり大切さを感じつつ、自分の行動に責任を持って活動しています。

今日のはたちのつどいは、長い人生の通過点ではありますが、私にとって、今まで出会ったたくさんの人に対する思いや感謝を振り返ることができた、とても素晴らしい機会となりました。これからも、何事にも感謝の気持ちを忘れず、自分を何段階も成長し続けられるよう、精一杯努力していきたいです。

最後になりましたが、本式典にご出席していただいた方々に心より感謝し、簡単ではございますが、これをもって私の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

「二十歳のことば」

森^{もり} 大和^{やまと}さん



本日は、二十歳を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大なる式典を催していただき、誠にありがとうございます。町長をはじめ、たくさんの方々にご臨席賜り、お祝いいただきましたことをとても嬉しく思います。二十歳を代表し、皆さまに心より感謝申し上げます。

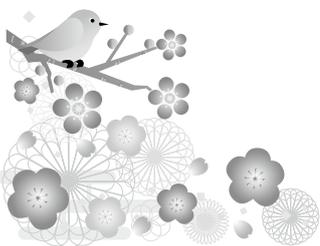
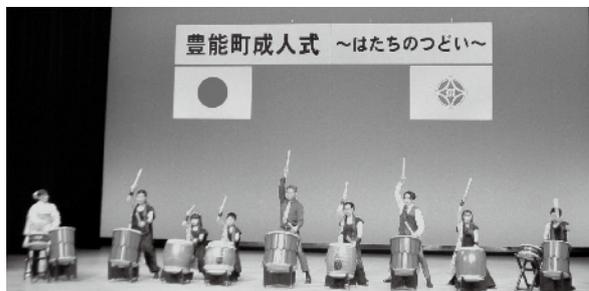
さて、私たちは、小学校から中学校までの時間を40人に満たない人数で過ごしてきました。しかし、中学卒業間近に新型コロナウイルス蔓延により卒業式の十分な練習ができず、ぶっつけ本番で式を迎えました。そして高校生になろうとしたときには、緊急事態宣言の発令により自宅待機。入学式がなくなり、いざ登校が始まって分散登校で、初めて高校のクラスの人々と顔を合わせたのは6月に入ってからでした。そんなウイルスはすぐに収まるだろうという願いも虚しく、何をすることも新型コロナウイルスが影を落とす、制限の多い高校生活を送りました。このような大変な時期を経て、私は「一人では限界があり、人の支えなしでは生きていけないこと」を学びました。そのことを最も実感させてくれたのは両親でした。高校一年生の頃、部活動で人一倍練習しないといけないときには毎日学校まで送り朝練をさせて

くれました。また、無茶なお願いを言っても文句を言わず手伝ってくれ、最後には一緒になって喜んでくれました。そんな両親に心から感謝していますし、これからは私が両親を支えていきたいと思っています。また、高校生活最後の文化祭では、実行委員長として「誰もが喜べる文化祭」を目標に活動しました。そこで一緒に目標を達成するために集まってくれた仲間たちと試行錯誤を繰り返して、準備してきた毎日は今でも鮮明に思い出されます。特に、準備中の姿を見て実行委員では無い生徒が「手伝います！」と進んで協力してくれたときは、一人ひとりが持つ力が合わされば絶大な力になることを実感しました。

私の好きなドラマで、「恥もかずに強くなれると思うな」という言葉があります。人間誰しも少なからず羞恥心を持っていると思いますが、それを恐れていつまでも前に進む勇気を出さなければ、現状維持の人生を送ってしまうかもしれません。もともと私は内気な性格で、今日この場に立つことも私一人では決断できませんでした。しかし、大学で出会った方のひと押しがあり、この場に立たせていただいています。今まで出会ったたくさんの人から助けてもらった恩をこれからは私が返せるように、またこれから出会う人を助けられるような人間になりたいと思います。

最後になりますが、これまで私たちを見守ってくださった家族、先生方、そして地域の方々へ、

心より感謝申し上げます。私たちはまだまだ未熟な身ではございますので、今後ともご指導のほどよろしく願います。簡単ではありますが、私の二十歳のことばとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



特集
案内一般
健康・福祉
安全・生活
教育・子育て
情報あれこれ